

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 GMOペパボ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3633 URL https://pepabo.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 五十島啓人 (TEL) 03-5456-3021
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,352	21.1	623	23.2	665	27.6	394	△1.6
2019年12月期第2四半期	4,419	—	506	—	521	—	401	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 391百万円(5.5%) 2019年12月期第2四半期 371百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	75.65	75.53
2019年12月期第2四半期	76.70	75.98

(注) 1. 当社は2019年12月期第1四半期より連結業績を開示しているため、2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は2019年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	7,283	1,816	24.3
2019年12月期	6,371	1,769	27.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,772百万円 2019年12月期 1,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	0.00	0.00	0.00	65.00	65.00
2020年12月期	0.00	0.00			
2020年12月期(予想)			0.00	52.50	52.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	7.3	829	5.8	837	0.2	542	0.0	104.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	5,434,600株	2019年12月期	5,434,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	221,206株	2019年12月期	221,206株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	5,213,394株	2019年12月期2Q	5,228,066株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 四半期決算説明会資料の入手方法

下記URLより、当社IRサイト内の四半期決算説明会資料をご参照ください。
なお、2020年7月29日(水)16時00分頃の掲載予定となります。

URL : <https://pdf.pepabo.com/presentation/20200729p.pdf>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションのもと、主に個人の表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。2020年12月期は、レンタルサーバーサービス「ロリポップ!」やネットショップ開業・作成サービス「カラーミーショップ」などの主カストックサービスの顧客単価アップによる堅調な伸びに加え、2019年12月期より黒字化したハンドメイドマーケットサービス「minne」のさらなる収益拡大を図ります。また、成長著しいオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」やフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」への投資を継続する計画です。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、3月に予定していた「minneのハンドメイドマーケット2020」を中止いたしました。4月の緊急事態宣言後には、オフラインからオンラインへの流れが加速したこともあり、ネットショップ開業・作成サービス「カラーミーショップ」への申込みが増加するなど、ストックサービスの契約件数は堅調に推移しました。また、第1四半期連結累計期間から引き続き、外出自粛による「巣ごもり需要」拡大により「SUZURI」や「minne」のようなフロー型ECサービスの流通額は好調に推移しました。一方で、フリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」については、昨年からの引き続き体制強化及び広告投資を行った結果、利用者数や買取請求額が増加したものの、4月の緊急事態宣言以降、企業の経営悪化や方針転換などにより、フリーランスへの発注額の減少や単価の下落があり、利用者数が減少し、請求書買取額の伸びが鈍化しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高5,352,493千円（前年同期比21.1%増）、営業利益623,542千円（前年同期比23.2%増）、経常利益665,828千円（前年同期比27.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益394,416千円（前年同期比1.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ!」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しております。「ロリポップ!」の契約件数におきましては、407,464件（前年同期末比0.2%増）となりました。上位プランやオプション機能への誘導強化の結果、顧客単価は381円（前年同期比4.1%増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、過去に実施した新ドメインの割引キャンペーンで取得されたドメインの更新率が低かったことにより、登録ドメイン数は1,207,104件（前年同期末比1.8%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は2,306,576千円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は711,099千円（前年同期比1.9%増）となりました。

② EC支援事業

EC支援事業には、国内最大級のネットショップ開業・作成サービス「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。「カラーミーショップ」におきましては、特に4月の緊急事態宣言以降に実店舗を運営されている方からのオンラインショップ開設の需要が拡大した結果、当第1四半期連結累計期間末時点より309件増加し、契約件数が40,991件（前年同期末比2.8%減）となり、10四半期ぶりの増加に転じました。また、巣ごもり需要を背景に流通金額が増加し、流通金額に応じて決済代行会社から受領する紹介手数料が増加したことに加え、継続的なアップセル及びクロスセル施策により、顧客単価は3,126円（前年同期比23.6%増）と大きく増加しました。

「SUZURI」におきましては、継続的な新アイテムの追加やSNS内で影響力のあるクリエイターの誘致を行ったことに加えて、2020年6月に実施したTシャツセールが奏功し、月間流通金額が過去最高の4億円を突破し、会員数は54万人、当第2四半期連結累計期間における流通金額は10.1億円（前年同期比180.9%増）と順調に増加しています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,831,028千円（前年同期比54.8%増）、セグメント利益は609,743千円（前年同期比34.8%増）となりました。

③ ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大のハンドメイドマーケットサービス「minne」が属しております。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、3月開催予定であった大規模オフラインイベント「minneのハンドメイドマーケット2020」を中止いたしました。一方で、外出自粛による「巣ごもり需要」が拡大したことに加えて、各種クーポンやキャンペーンなどの販促活動を行ったことに伴い、2020年4月から6月における3ヶ月間の流通金額は41億円（前年同期比39.7%増）と過去最高を更新し、当第2四半期連結累計期間における流通金額は75億円（前年同期比22.4%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,015,919千円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益は225,950千円（前年同期比271.3%増）となりました。

④ 金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGMOクリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」が属しております。2018年10月より提供している「FREENANCE」におきましては、事業拡大に伴う人員増加に加えて、継続的な機能開発及びWebプロモーションなどの投資を行っており、第1四半期累計期間まで順調に利用者数や請求書買取額が増加していました。しかし、4月の緊急事態宣言以降は、企業の経営悪化や方針転換などにより、フリーランスへの発注額の減少や単価の下落があり、利用者数が減少し請求書買取額の伸びが鈍化しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は62,277千円（前年同期比1,002.9%増）、セグメント損失は170,233千円（前年同期間におけるセグメント損失は44,573千円）となりました。

⑤ その他

その他には、当社が運営するブログサービス「JUGEM」に加えて、連結子会社であるGMOクリエイターズネットワーク株式会社が運営するWebコンテンツ制作事業が属しております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は136,691千円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は22,636千円（前年同期比24.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,283,991千円（前連結会計年度末比912,184千円増）となりました。これは、主に売掛金が848,367千円及び現金及び預金が388,245千円増加した一方で、関係会社預け金が300,000千円減少したことによるものであります。

負債は5,467,826千円（同865,910千円増）となりました。これは、主に未払金が376,095千円、営業未払金が179,174千円、前受金が135,708千円、預り金が112,405千円及び未払法人税等が40,792千円増加したことによるものであります。

純資産は1,816,165千円（同46,273千円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が394,416千円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が338,870千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「巣ごもり需要」を背景にEC関連サービスが好調に推移した結果、通期連結業績予想に対しての進捗率は、売上高55.8%、営業利益75.2%、経常利益79.5%、親会社株主に帰属する当期純利益72.8%となっておりますが、当第3四半期会計期間以降に好調であるEC関連サービスへのプロモーション等の投資を計画しているため、通期連結業績予想につきましては、2020年2月5日発表の業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,753,562	2,141,808
関係会社預け金	700,000	400,000
売掛金	2,043,295	2,891,662
商品	7,794	10,353
貯蔵品	1,356	866
その他	428,210	415,695
貸倒引当金	△17,742	△47,655
流動資産合計	4,916,476	5,812,731
固定資産		
有形固定資産	263,706	285,125
無形固定資産	403,025	442,550
投資その他の資産		
投資有価証券	682,223	616,500
その他	106,375	127,083
投資その他の資産合計	788,598	743,584
固定資産合計	1,455,330	1,471,260
資産合計	6,371,807	7,283,991
負債の部		
流動負債		
営業未払金	177,146	356,321
未払金	1,620,261	1,996,357
未払法人税等	231,701	272,493
前受金	1,752,570	1,888,278
預り金	382,770	495,175
賞与引当金	74,556	71,028
ポイント引当金	3,846	493
その他	332,056	360,621
流動負債合計	4,574,910	5,440,769
固定負債		
資産除去債務	27,004	27,057
固定負債合計	27,004	27,057
負債合計	4,601,915	5,467,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	159,677	159,677
資本剰余金	160,004	160,004
利益剰余金	1,723,191	1,778,737
自己株式	△456,185	△456,185
株主資本合計	1,586,687	1,642,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,091	130,652
その他の包括利益累計額合計	133,091	130,652
新株予約権	50,113	43,279
純資産合計	1,769,892	1,816,165
負債純資産合計	6,371,807	7,283,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,419,857	5,352,493
売上原価	1,792,293	2,187,882
売上総利益	2,627,564	3,164,610
販売費及び一般管理費	2,121,290	2,541,068
営業利益	506,274	623,542
営業外収益		
受取利息	597	240
受取配当金	2,280	2,553
投資事業組合運用益	9,500	40,569
持分法による投資利益	479	—
その他	7,237	11,914
営業外収益合計	20,095	55,278
営業外費用		
投資事業組合運用損	2,516	2,221
持分法による投資損失	—	9,853
支払手数料	932	—
その他	994	917
営業外費用合計	4,443	12,992
経常利益	521,925	665,828
特別利益		
投資有価証券売却益	11,671	—
特別利益合計	11,671	—
特別損失		
イベント中止損失	—	13,286
リース解約損	1,820	—
特別損失合計	1,820	13,286
税金等調整前四半期純利益	531,777	652,542
法人税、住民税及び事業税	139,760	249,519
法人税等調整額	20,986	8,606
法人税等合計	160,746	258,126
四半期純利益	371,030	394,416
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,986	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	401,016	394,416

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	371,030	394,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	670	△2,438
その他の包括利益合計	670	△2,438
四半期包括利益	371,700	391,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,686	391,977
非支配株主に係る四半期包括利益	△29,986	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	531,777	652,542
減価償却費	103,775	112,967
のれん償却額	7,515	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,624	29,912
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,231	△3,528
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,243	-
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△8,947	△3,353
投資事業組合運用損益(△は益)	△6,983	△38,348
持分法による投資損益(△は益)	△479	9,853
受取利息及び受取配当金	△2,878	△2,793
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,671	-
売上債権の増減額(△は増加)	69,532	△848,367
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,398	△2,068
前渡金の増減額(△は増加)	△4,723	2,591
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△11,625	9,653
営業未払金の増減額(△は減少)	45,015	155,185
未払金の増減額(△は減少)	△228,379	377,522
前受金の増減額(△は減少)	29,155	135,708
預り金の増減額(△は減少)	8,372	112,405
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,079	34,001
その他	△8,507	△7,413
小計	438,530	726,470
利息及び配当金の受取額	2,883	2,796
法人税等の支払額	△45,172	△207,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,241	521,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,104	△53,672
無形固定資産の取得による支出	△110,057	△103,438
投資有価証券の取得による支出	△125,712	△4,000
投資有価証券の売却による収入	42,479	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,747	-
投資事業組合からの分配による収入	44,641	66,268
敷金及び保証金の回収による収入	1,025	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,475	△94,766

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△249,966	-
ストックオプションの行使による収入	1,470	-
配当金の支払額	△276,604	△338,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△525,101	△338,504
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△340,335	88,245
現金及び現金同等物の期首残高	2,702,293	2,453,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,361,957	2,541,808

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,271,469	1,183,072	836,800	5,646	4,296,988	122,868	4,419,857	—	4,419,857
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,271,469	1,183,072	836,800	5,646	4,296,988	122,868	4,419,857	—	4,419,857
セグメント利益 又は損失(△)	698,173	452,239	60,851	△44,573	1,166,691	30,053	1,196,745	△690,471	506,274

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△690,471千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,306,576	1,831,028	1,015,919	62,277	5,215,801	136,691	5,352,493	—	5,352,493
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,306,576	1,831,028	1,015,919	62,277	5,215,801	136,691	5,352,493	—	5,352,493
セグメント利益 又は損失(△)	711,099	609,743	225,950	△170,233	1,376,560	22,636	1,399,197	△775,654	623,542

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△775,654千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの区分方法の変更

当第2四半期連結会計期間において、従来「その他」に含まれていた「金融支援事業」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。